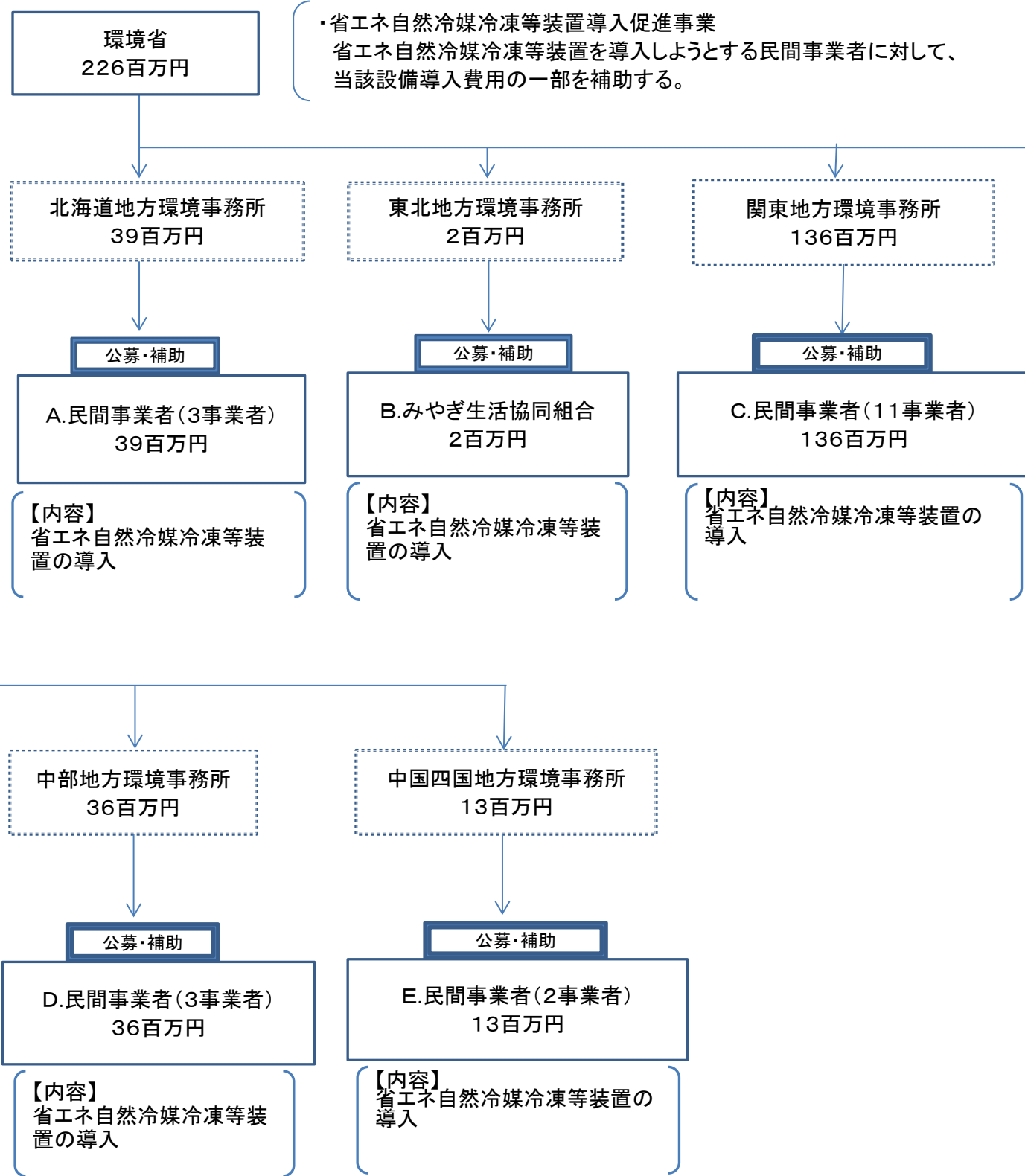


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度～平成27年度		担当課室	地球温暖化対策課 フロン等対策推進室		室長 熊倉 基之	
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		政策・施策名	1. 地球温暖化対策の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ホ、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3項		関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	省エネルギー性に優れ、かつ、フロン類冷媒に比べて格段に環境負荷の少ないアンモニア等の自然冷媒を利用した冷凍・冷蔵・空調装置の導入を進めることによって、使用電力の節減によるエネルギー起源CO2の削減を図るためのものである。また、併せてフロンガスの排出削減を図り、地球温暖化防止を促進させるものである。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	業務用の冷凍・冷蔵・空調設備に関し、自然冷媒を使用した省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部(フロン類冷媒を使用した同等の冷凍能力を有する装置を導入する場合の費用との差額の3分の1)を補助する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	160	333	250	505	505
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	-24	-15	39	—	—
	計	136	318	289	505	505	
	執行額	126	272	226	—	—	
執行率(%)	93%	86%	78%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	導入省エネ自然冷媒冷凍等装置(累計) によるエネルギー起源CO2削減効果		成果実績 トン-CO2/年	10,800	14,428	17,993	30,000
			達成度 %	36	48	60	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	冷凍倉庫等への導入施設数(累計)		活動実績 (当初見込み) 施設	39	63	79	—
				(60)	(94)	(197)	
単位当たりコスト	1,290 (円/トン-CO2)		算出根拠	平成24年度の補助事業(16事業所)によるエネルギー起源CO2削減量及び冷媒代替による温室効果ガス削減量(CO2換算)は、1施設あたり約755トン-CO2/年であるので、耐用年数を12年としたときの削減量の合計は、144,960トン-CO2。 平成24年度の執行金額は187百万円であるから、CO2 1トンあたりの削減コストは、約1,290円。			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金	505	505	—			
	計	505	505				

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	京都議定書目標達成計画では「ノンフロン製品等の普及加速化」が主要対策の一つとして位置づけられており、実効性かつ即効性のある温室効果ガス排出抑制対策技術の導入普及が不可欠であることから、国が率先して行うべき事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・補助対象事業者の選定に当たっては公募を行っており、費用対効果、CO2削減量等を総合的に勘案して選定している。 ・補助率を1/3としており、受益者にも相応の負担を求めている。 ・交付決定時及び支出時において見積及び支出経費を精査することで、支出合理性を確保し、費目・用途を必要なものに限定する。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	現時点においては、従来型装置との価格差が大きいため導入が進んでいないが、価格差の一部を補助することにより、導入を躊躇していた中小事業者にも導入を促し、量産化の促進による省エネ自然冷媒冷凍等装置の価格低減及び新規参入促進効果等によって、普及の加速化を図ろうとするものであり、効果的かつ低コストで実施している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	環境省は、既に商業化されているが普及していないノンフロン製品について普及の加速化を担当する。一方、経済産業省は、商業化未了のノンフロン製品について、主として、その商業化に必要な技術面を中心とする諸課題の解決を図る事業を担当している。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	新25-0051	省エネルギー型代替フロン等排出削減技術実証支援事業	経済産業省		
点検結果	<p>・各項目の評価を踏まえた課題や今後の改善の方針 平成23年度以降は、従来の冷凍倉庫等に加えて、導入が進んでいないスーパーマーケットやコンビニエンスストア等の市場規模の大きな分野への導入促進を図っている。また、さらに広く省エネ自然冷媒冷凍等装置の導入の加速化が図られるよう、補助事業者に対して、本事業による導入効果等について、会社ホームページへの掲載等による広報の要請・指導を徹底するとともに、スーパーマーケット等導入が遅れている業種への応募勧奨を強化することとしている。 平成26年度以降についても、更なるノンフロン冷凍等装置の普及を目指し、引き続き、本補助制度を継続する方向で検討。</p>				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。				
備考					
<p>【公開プロセスによる環境省行政事業レビュー】平成24年度(平成24年6月7日開催) ○事業番号・事業名: 省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業 ○取りまとめ結果: 一部改善(現状維持0人、一部改善3人、抜本的改善1人、廃止2人) ○取りまとめコメント(要旨) 大型装置については一定の普及が進んでいることから補助対象から除外し、普及が進んでいないコンビニ・スーパーなどの未だ価格差の大きい中型装置に補助対象を限定すべき。財政措置と規制措置を組み合わせるなど、抜本的な見直しを行っていくべき。</p>					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	323	平成23年	296	平成24年	293

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



・省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業
省エネ自然冷媒冷凍等装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部を補助する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.生活協同組合コープさっぽろ			E.太一株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	21	工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	8
計		21	計		8
B.みやぎ生活協同組合			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	2			
計		2	計		0
C.株式会社松岡			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25			
計		25	計		0
D.伊那食品工業株式会社			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	16			
計		16	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	生活協同組合コープさっぽろ	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	21	—	—
2	株式会社モリタン	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	9	—	—
3	株式会社ニチレイフーズ	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	9	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	みやぎ生活協同組合	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	2	—	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社松岡	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	25	—	—
2	山手冷蔵株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	20	—	—
3	銚子東洋株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	18	—	—
4	森永エンゼルデザート株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	13	—	—
5	株式会社マルハニチロ食品	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	12	—	—
6	株式会社マルハニチロ物流	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	11	—	—
7	味の素ベーカリー株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	10	—	—
8	浜銀ファイナンス株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	10	—	—
9	株式会社明治	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	8	—	—
10	株式会社神戸屋	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	7	—	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	伊那食品工業株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	16	—	—
2	アスザックフーズ株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	14	—	—
3	大正冷蔵株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	6	—	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	太一株式会社	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	8	—	—
2	株式会社やまひろ	省エネ自然冷媒冷凍等装置設置	5	—	—